

秘書不在に関する おわび

令和3年5月10日

北海道大学のルールに従い、現在秘書業務をお願いしている濱上優子氏を辞めさせざるを得なくなりました。ルールの善悪は論じませんが、いかに悪いルールでも社会を維持するためには従わないといけません。これほど優秀な人材を失うことは、研究室にとっては、とてもつらく大変な事態ですが、しかたありません。

3月より公募をかけておりますがなかなか適任者が見つからない状況で、本日に至りました。私の不徳のいたすところです。申し訳ありません。

研究室の大多数が海外から来られた方ですから、英語に堪能で、業務がほとんどコンピューターですので、コンピューターにも明るく、研究室の世話をしていただけの方という条件で見つけることは困難なのかもしれません。

ひきつづき、良い方を探しております。

つきましては、今後しばらく、多くの皆さまにご心配とご迷惑をおかけすることになると思いますが、どうかこういう事情ですので、ご容赦いただきたくおもいます。とくに、事務処理の遅延・不備等、研究室の皆さまや事務室の皆さまには多大なご迷惑をおかけしますが、どうかご理解をいただき、ご容赦いただければと思います。本当に申し訳ありません。よろしく申し上げます。

簡単ではありますが、お詫びまで

朝倉清高